

日本医学会分科会活動報告

一般社団法人日本呼吸器学会
理事長 横山 彰仁

- I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。
- a. 特に学術的に重要と考えられるもの
- ① COVID-19 に関して：厚生労働省の特別研究として本学会を事務局とした COVID-19 の遷延症状に関するコホート研究を行っている。これまでに全国約 70 施設において、対象としている中等症以上の入院患者 1,000 例以上に同意を得て登録し、症状に加えて肺機能や画像の変化を追跡するものである。本年 5 月に中間報告を行ったが、さらに継続的な調査を行うべく継続的に経過観察している。日本人における貴重な研究成果が得られるものと期待されている。また、本学会を利用した COVID-19 関連の調査研究を推進し、学会主導の研究論文が数編掲載に至っている。これらと会員施設からの論文をホームページに掲載し、広く COVID-19 の学術的情報の発信に努めている。
 - ② その他について：特発性間質性肺炎、重症難治性喘息、ARDS、COPD など主要疾患やパルスオキシメーターなどに関するエビデンスを集積し、EBM に基づく多くのガイドラインや診療・検査の手引きを作成している。これらの一部は、後述する諸外国の呼吸器学会との共同作業で作成している。また、これまでに肺機能検査値の日本人の標準値の直線回帰式（2001 年）、LMS 法による予測式（2014 年）を作成し、本検査に必須の標準値を提供してきた。さらに、日本語および英語の学会雑誌を発行し、学術活動を推進している。
- b. 当該領域における国際的な役割
- アジア太平洋呼吸器学会（APSR）の創設（1988 年）においては、本会がアジア地域の国際学会として提案（1984 年）し、主導的役割を果たしてきた。本年 2021 年 11 月に第 25 回 APSR を京都で開催し、本会の成功に貢献したところである。また、米国胸部学会（ATS）や欧州呼吸器学会（ERS）と連携し、国際交流を推進しており、一部領域では合同のガイドライン（特発性間質性肺炎、特発性肺線維症、過敏性肺炎など）を作成することが常となっている。

c. 活動からもたらされる社会的な意義

先に述べたように多くのガイドラインや手引きを発行し、また肺機能検査になくってはならないデータを提供し、患者中心の安全で質の高い医療を提供するのに貢献している。もちろん、「呼吸器内科専門医」の育成に尽力しており、日本専門医機構の基準に合わせた新・専門医制度の構築に努めている。さらに、本会の e-learning のコンテンツの充実を図って、呼吸器あるいは一般内科医の診療レベルの向上、疾患啓発に努めている。

昨年より大きな問題となっている COVID-19 に関して、日本呼吸器学会では啓発活動を行っている。本学会ホームページに FAQ 広場を設けて一般会員からの質問を受け付け、専門家からの回答を掲載しており、有益な情報源として評価いただいている。このような COVID-19 の情報提供や、重症化因子である COPD や喫煙に対しては、慢性呼吸器疾患患者会や慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟などと共同し、啓発活動、禁煙推進にも貢献している。

d. 学会運営上留意している点

特に開かれた活力ある学会を意識し、様々な改革や取り組みを行っている。中期計画を立て、近い将来に女性役員を会員比率と同率となるようにすることや、若手の登用や国際的な活動を推進すること、第一線のプライマリーケア医の学会活動への参画推進など、学術活動にとどまらず本会の社会的役割に留意しつつ運営している。

II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載してください。

年次総会においては、他学会（感染症学会、化学療法学会、結核・非結核性抗酸菌症学会、アレルギー学会、耳鼻咽喉科学会など）との共同企画・シンポジウムの開催を毎年行っており、会員への疾患啓発に役立っている。このような流れの一環として、アレルギー学会や医学放射線学会などとも共同でガイドライン作成を行っている。また、保険委員会において、診療報酬改定に関する共同提案や情報交換を行っており、抗 IL-5 抗体、抗 IgE 抗体などの生物製剤、ロナプリールやアビガンなど COVID-19 薬などに関して厚生労働大臣等への陳情、早期承認や在宅使用の承認に関する意見書を感染症学会、環境感染学会、アレルギー学会、リウマチ学会など他学会と共同で提出するなどしている。

COVID-19 いわゆる後遺症に関する厚労特別研究においては、登録例のうち 150 例について循環器学会が主導し、心臓への影響、特に心臓 MRI 検査の施行などを実施しており、今後の研究成果が待たれるところである。